

50mライフル三姿勢
個人種目
2022年度国内版

競技形式	
種目	ライフル
種目の種類	個人
種目名	50mライフル三姿勢男子 50mライフル三姿勢男子ジュニア 50mライフル三姿勢女子 50mライフル三姿勢女子ジュニア
競技方式	<p>予選ステージ： エントリー数に応じて、1つ以上の射群で行われる。</p> <p>本選ステージ： 射座数に応じて、1つの射群で行われる。</p> <p>ファイナルステージ： 2022年度の国内試合のファイナルは原則として東京2020版で行われる。ただし、2022年度版ISSFルールによるファイナルの実施は妨げない。2022年度版ISSFルールは下記のURLから確認すること。 https://www.issf-sports.org/theissf/rules_and_regulations/rifle_rules.ashx</p>
予選	<p>選手の数が使用可能な射座数を超える場合、予選が行われなければならない。</p> <p>50m射場に、エントリー総数に対して十分な射座がある場合は、予選は必要ない。</p>
会場	<p>全ての射群で50m射撃場が使われること。</p> <p>予選と本選は、本選射場で行われる。 ファイナルは、ファイナルホールもしくは指定されたファイナル射場で行われる。</p>
標的	全ステージにおいて、電子標的にて行われる。
得点	<p>予選、本選 整数での採点</p> <p>ファイナル 小数での採点</p>
予選、本選での同点	立射、膝射、伏射の順に姿勢別の合計得点が高い者。
予選、本選での故障	<p>ISSF 規則 6.13 に準拠する。</p> <p>用具の故障のための時間延長は認められない。</p> <p>ジュリーは故障を修理し射座に戻った後の追加の試射については認めるこ</p>

	とができるが、元々の競技時間以内に残りの本射が発射されなければならない。
予選ステージ（必要に応じて）	
予選の進め方	予選の射群は本選の実施される日の前日に実施されるべきである。選手への射座の割り当ては、発行された各射群のスタートリストに従う。
射座割の作成	予選射群のスタートリストは、次のように作成される：
弾数と制限時間	第1射群 — 日ラランキングで上位24名の選手に対してランダムに50パーセント、それに加えて、射座数の上限に対してランダムに選ばれる。 第2射群 — 日ラランキングで上位24名の選手に対してランダムに50パーセント、それに加えて、射座数の上限に対してランダムに選ばれる。 第3射群 — 射座数の上限に対してランダムに選ばれる。
選手の入場 射場長の号令	選手は1時間30分の制限時間で60発の本射弾（3×20）を膝射、伏射、立射の順序で撃つ。 開始時刻の20分前： “ATHLETES TO THE LINE（アスリーツ トゥー ザ ライン）”
準備および試射時間	選手は5分間で割り当てられた射座に用具をセットアップできる。 “FIFTEEN（15）MINUTES PREPARATION AND SIGHTING TIME, START（フィフティーン ミニッツ プレパレーション アンド サイティング タイム、スタート）” 14分30秒後、“30 SECONDS（サーティー セコンズ）” 15分後、“STOP（ストップ）” 30秒間で電子標的を本射モードに切り替えた後：
後続の射群	“MATCH FIRING START（マッチ ファイアリング、スタート）” 80分後、“10 MINUTES（テン ミニッツ）” 85分後、“5 MINUTES（ファイブ ミニッツ）” 90分後、“STOP, UNLOAD（ストップ アンロード）”
本選への進出	複数の予選射群がある場合は、次の射群の選手が射座に呼び出されるまでに30分の間隔を設ける。この時間で撃ち終わった選手は射座から用具を出し、RTSジュリーが標的の点検をする。 選手は第1射群と同様に射座に呼び出される。

計算式	<p>予選通過者は各射群の上位者から、各射群の実参加者数と同比率で、選出されなければならない。予選通過者はできるだけ早く発表されなければならない。</p> <p>予選通過者数は、使用可能な射座数によって決定される。少なくとも12人が予選を通過する。次の計算式を用いて予選通過者数が算出される：</p> <p>使用可能な射座数÷実参加者総数×射群の実参加者数＝予選通過者数 (例) 60射座で101人参加の場合 第1射群：54名→32.08 (60÷101×54) = 32名予選通過 第2射群：47名→27.92 (60÷101×47) = 28名予選通過 第2、3射群がある場合も、同じ計算式が用いられる。</p>
本選ステージ	
本選の進め方	予選ステージと同じ手順で、選手は三姿勢で3×20を撃つ。
ファイナルへの進出	本選の上位8名がファイナルステージへ進出する。 ファイナルは東京2020版に従う。
音楽と声援	本選とファイナルでは、音楽をかけなければならない。テクニカルデレゲートは音楽プログラムを承認しなければならない。 すべてのファイナルステージにおいて観客による熱烈な応援は奨励され、推奨される。
ペナルティ	ペナルティはISSF規則に従って科される。
想定外の事態	<p>上記に言及されていない事態には、ISSF ゼネラルテクニカルルールが適用される。</p> <p>想定外や評価の割れる事態は、各種目のゼネラルテクニカルルールに従い、 Jury によって裁定される。</p>